

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 中川 加津代

- I 開催年月日 平成 30 年 4 月 24 日（火）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 2 時 15 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎中川加津代 ○本田 利麻 瀬川 侑希
山口 泰祐 酒井 善広 金平 直巳
樋詰 和子 曾田 康司 大井 正樹
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 狩野 安郎
〔副議長〕 福井 直樹
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 林 貴文 高瀬 充子
〔事務局職員〕 安東 浩志 松本 武司 宮島 謙治
柚原 規泰
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔都市創造部〕

。おとぎの森館遊戯施設設置について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

（ 以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示 ）

【おとぎの森館遊戯施設設置について】

- 施工業者の選定については、公募型プロポーザル方式により行うとのことだが、選定委員会の構成と選定基準は。
△ 選定委員については、デザイン関係を含む職員 3 名、子ども・子育て関係の諸団体を中心とした外部委員 2 名の計 5 名を予定している。応募事業者には、おとぎの森公園のコンセプトを遵守し、天候や季節に影響されず、子どもが発育に応じて、

自由に楽しく安全に遊ぶことができる施設とし、アトリウムガーデンの約半分程度の空間を使って自由にご提案していただく。

○ 高岡おとぎの森公園の整備に係る財源について、国・県の補助金の内訳、市債の償還状況、利率等の条件は。

△ 補助金については全額国庫補助金である。市債の対象となる公園整備事業については、おとぎの森公園以外の整備事業も含まれていることから、おとぎの森公園のみの事業債を特定することは難しい。

○ 遊戯施設設置等に当たり、平成 30 年度当初予算に 5,700 万円計上しているにもかかわらず、契約上限額を約 5,000 万円とした理由は。

△ 差額 700 万円については、幼児用トイレの整備や付帯工事に係る費用に充てることとしている。

○ 公園の駐車場として、北陸新幹線高架下の用地や近隣の民間事業所の駐車場活用についての検討状況は。また、遊戯施設の対象が小学生以下と小学生未満のエリア別に分かれていることから、保育園・幼稚園や小学校を通じて、利用する側の意見を取り入れ、反映されるよう検討できないか。

△ 民間事業所の駐車場や北陸新幹線高架下の用地活用については、関係機関に内々に打診している。

遊戯施設設置に当たり、業者の選定委員会には、子ども・子育て関係の諸団体を中心とした外部委員、例えば、保育園や幼稚園等の特に公園を利用する団体からの選出を考えており、そういった方々から意見をいただくなかで、利用者視点に立った施設に反映していきたい。平成 29 年度に実施した子育て世代を対象としたアンケート等での意見をしっかり踏まえ、整備していきたい。

○ 公園が混雑する土曜・日曜日に、公園駐車場として、近隣の民間事業所の駐車場を借りる場合は、市から事業所へ直接持ち掛けていただきたい。（要望）

○ 公園周囲の道路の片側は駐車可能とのことだが、県外からの利用者に分かり易いよう案内看板を設置しては。

△ 公園周辺の路上駐車スペースについては、2 方向の道路について片側駐車が可能となっており、駐車可能の明示はあまり目立たない状況である。今後、県外の利用者にも分かるような案内表示を検討していきたい。

○ 遊戯施設について、市が具体的なコンセプトを持ったうえで、プロポーザルを実施すべきでは。

△ おとぎの森公園のコンセプトをしっかりと活かし、大きく外れることがないよう、子どもの情操学習の場でもあることをしっかりと踏まえ、子育て世代が冬期や雨天時に集える場として考えていきたい。

○ 平成 30 年 8 月上旬に事業着手するとのことだが、利用者の多い夏休み期間を避けるべきでは。

△ 着手とは、契約後に設計を開始することをいい、業者が現地に入るのは、30 年秋頃になると考えている。

○ 利用者に選ばれる施設になる必要があると考える。例えば、東京オリンピックのマスコットキャラクターを小学生に選んでもらったように、遊戯施設も選ぶという

プロセスを経ることで、より愛着が沸くと考え。市役所と市民の距離を近づけるチャンスと考えるため、再度、施設設置の過程のなかで考えていただきたい。

△ 利用者に選ばれるという視点は、非常に重要と考える。何が出来るのか検討したい。

○ 子どもの人気施設になるよう、外国製等の珍しい遊具の設置も選択肢として検討しては。

△ 子どもに喜ばれる施設となるよう努めていきたい。

○ 平成 27 年・28 年に、施設に対する「館内の施設が古い」、「園路がデコボコで歩みにくい」、「地下が臭い」、「公園内を禁煙にして欲しい」、「シアターを直して欲しい」といった要望・苦情が公園指定管理者に寄せられているが、その対応状況は。また、過去に公園へ誘導する路上の案内サインが少ないことを指摘したが、その対応状況は。

△ 案内サインの設置には至っていないが、できる限りホームページ等での分かり易い案内に努めている。おとぎの森館の地下部分は、地下水の影響で臭いが発生するのではと考えており、今後、対応策を検討していきたい。

公園内の施設については、目視等の点検を実施している。シアターについては現在改修中であり、30 年度も引き続き一部の改修を予定している。

○ 過去におとぎの森館内の一部部材が崩落したことがあり、改めて耐震性を含めた施設の安全性の確認が必要と考えるが。

△ 平成以降に建てられた建築物であるため、耐震性は問題ないと考えている。過去に台風の影響で雨が館内に吹き込み、濡れた天井材が落ちたことは記憶している。

○ 建物の安全性については万全を期すべきであり、日頃から安全性に対するチェックは徹底していただきたい。

△ 安全第一で進めていきたい。

○ 受益者負担の観点から、1 階アトリウムガーデンや 2 階スライドシャワーの有料化を検討しているか。また、財政難のなか、本市が稼ぐ力をつけていくことを考え、わずかでも料金を徴収することを検討してはどうか。

△ 現在、有料化は考えていないが、何が出来るかも含めて検討していきたい。

○ 利用対象を小学校以下としていることから、利用料の徴収について検討すべきではないと考える。(意見)

○ おとぎの森館への遊戯施設の設置についての審査にもかかわらず、これに関連して、おとぎの森公園について、際限なく質問するのは、いかがなものかと思う。(意見)

2 その他

・ 次回の常任委員会の開催について

5 月 23 日(水)午前 10 時に開催することが報告された。

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【消費税増税時の軽減税率の適用について】

- 平成 31 年に消費税の増税が予定されており、その際には軽減税率の適用が想定される。商工団体においては、30 年度から様々な対応を考えている。軽減税率の適用に至った場合、例えば、セミナーの開催といった対応を、市は検討しているか。
- △ 現在、具体的な対応は考えていない。商工団体で動きがあれば、今後考えていきたい。
- 商工会や商工会議所では、軽減税率に対応したレジを導入した場合に助成するといった話もあるが、市では何か検討しているか。
- △ 具体的には考えていないが、意見として承りたい。

【中小企業の持続発展について】

- 中小企業には人材不足や事業継承等の課題があるが、企業を持続発展させるための考えと決意は。
- △ 事業承継の方法については、一般企業においてあまり周知されていないと感じている。そこで平成 30 年度においては、事業承継のためのセミナーの開催や事業承継をテーマとした中小企業大学校のサテライト・ゼミの開催を計画している。事業継承はこれからの課題と捉えており、若い生産年齢人口が減少していくなか、高齢者が技術を後継者へ引き継げない状況にあることから、場合によってはM&Aも必要と考えるが、金融機関の支援も含め、次の世代に事業をスムーズに引き継ぐことができる環境づくりを整備していきたい。

【イオンモール高岡の増床計画について】

- イオンモール高岡の増床に伴い、更なる交通渋滞の悪化が懸念され、周辺の交通環境が一変することが考えられるが、これを想定した国土交通省や県土木センターとの連携状況は。
- △ 現在、県が実施している主要地方道高岡環状線の工事は、平成 27 年度から 3 期区間で進められており、30 年 2 月には高架部分の設計が終了している。環状線の側道と駅南一丁目二塚線との交差点の詳細設計についても、30 年 2 月にコンサルティング会社と契約していると聞いており、現道に対しての暫定的なすり付け工事を行うことから、今後、県や公安委員会と連携を密にし、十分に協議して整備していきたい。

【ドラえもん展の開催について】

- 平成 30 年 3 月からドラえもん展が開催されているが、市外や県外からの来館者については、観覧後どのような行動が望ましいと考えるか。
- △ ドラえもん展の会場の高岡市美術館の近隣には、高岡古城公園、高岡大仏、山町筋、金屋町の町並みなど、観光スポットが多数ある。万葉線志貴野中学校前電停もラッピングしており、まちなかを周遊していただくためのコースとして、周辺の観光施設・名所も併せて訪れていただくことで、高岡の持つ魅力が向上することを期待している。

○ ドラえもん展の開催期間にもかかわらず、おとぎの森公園に設置されているキャラクター像が修理のため撤去された時期があったが、その期間を避けて修理する発想はなかったのか。

△ 開催期間を避けて修理すべきであったが、調査不足であった。

【観光産業について】

○ 本市における産業観光の今後の展開は。

△ 民間事業者と連携しつつ、点の取り組みを線又は面に広げていくための事業者間のネットワーク構築の取り組みや、インバウンドを意識した産業観光の儲かる仕組みづくりを検討している。経済産業省の予算を活用しながら、ネットワーク形成事業を実施しており、平成 29 年度はフォーラムを 2 回、勉強会を 2 回開催した。30 年度についても、現在、経済産業省の予算の確保に向け、民間事業者により補助金を申請しているところであり、採択のあかつきには、地域の事業者とともに、産業観光の取り組みを強化していきたい。

○ 事業者間のネットワークの強化については、産業観光の取り組みに意欲的な事業者も多く、業界関係者で担うことが望ましいが、市がしっかり音頭を取って進めていただきたい。(要望)

【浸水対策について】

○ 集中豪雨による浸水被害を想定した今後の具体的な対策は。

△ 増水に弱い箇所の予防的な把握や、大雨の際に適宜パトロールを実施し、資機材等を確保しながら、絶えず災害は起こり得るという認識のもと、行政全体で横の連携を図りながら対応していきたい。

〈 当局から、次のとおり報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

・ イベントの開催について

〈 委員から次の質疑等があった。 〉

【平成の御車山について】

○ 高岡御車山祭のパンフレットに、「平成の御車山」についての説明等を詳しく掲載すべきでは。

△ 完成披露式典において、マスコミの取材等により、「平成の御車山」を大々的に P R したいと思う。

○ 高岡の技術を継承するため制作された「平成の御車山」をしっかりと P Rするとともに、新たな観光資源に位置付け、リピーターの増加につながるような取り組みを考えていただきたい。(要望)

【宿泊観光について】

- 観光に伴う市内宿泊者数と宿泊者増加のための戦略は。
- △ 観光庁が実施する宿泊旅行者の統計調査によれば、平成 29 年 1 月から 12 月までの市内の宿泊者は約 24 万 8,000 人である。現在、旅行会社等を含めたエージェン
トを訪問するなかで、高岡の観光名所を 1 カ所でも訪れ、高岡に 1 晩でもお泊りい
ただけるような旅行商品が企画されるようセールス・P Rを展開している。

【イベントチラシについて】

- お祭り等のイベントチラシの作成・配布に当たっては、今後、P Rすべき内容を
しっかり前面に出すとともに、県外の方々にしっかりと告知されるよう留意してい
ただきたい。(要望)

【高岡といで菜の花フェスティバルについて】

- 世界遺産バスの運行に当たり、「高岡といで菜の花フェスティバル」の開催に支障
はないか。
- △ 開催に影響のないように取り計らいたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２９名）

産業振興部長	川 尻 光 浩	都市創造部長	堀 英 人
産業振興部次長 参事	宮 本 哲 哉	都市創造部次長	川 上 孝 裕
産業振興部参事（兼務）	渡 辺 朋 洋	都市創造部参事	渡 辺 朋 洋
産業企画課長	新 保 貴 之	都市計画課長	久 郷 聡
商業雇用課長	表 野 勝 之	花と緑の課長	堺 啓 央
観光交流課長	長 井 剛 志	道路整備課長	橘 茂 徳
農業水産課長	有 栖 友 広	土木維持課長	広 田 利 和
農地林務課長	村 本 民 則	建築政策課長	日 名 田 尚 明
みなと振興課長	須 田 稔 彦	営繕課長	大 野 一 信
福岡総合行政センター所長	鶴 谷 俊 幸	上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
福岡総合行政センター次長 地域振興課長	末 坂 進	上下水道局次長	嘉 信 和 昭
産業建設課長	堂 田 康 弘	上下水道局次長 下水道工務課長	小 嵐 正 吾
福岡まちづくり推進室長	池 田 政 弘	総務課長	五 十 里 康 夫
		営業課長	宮 田 修 司
農業委員会事務局次長	大 野 裕 隆	水道工務課長	炭 谷 信 之
		施設維持課長	浜 谷 圭 一